

情報公開文書

研究の名称	胆嚢捻転解除時の血圧低下に関する後ろ向き観察研究
研究責任者	救急診療センター 矢田部智昭
① 試料・情報の利用目的及び利用方法	<p>この研究は公立西知多総合病院倫理委員会の承認および病院長の許可を受けて実施しています。</p> <p>【研究の目的・方法】 胆嚢捻転（胆嚢が捻れて痛みが生じる病気）は緊急手術が必要な疾患です。手術中、捻転を解除した際に血圧が低下する可能性があります。胆嚢捻転自体が珍しい疾患であり、十分に分かりません。そこで、今回、当院で胆嚢捻転の手術を受けた患者さんの麻酔中の記録を調査することで、捻転を解除した際に血圧が低下するかどうかを明らかにできると考え、後方視研究（カルテのデータを集める研究）を行うことにしました。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2028年3月31日</p> <p>【研究対象者】 2021年2月1日～2026年1月31日の期間に、当院において胆嚢捻転に対して手術を受けた20歳以上の患者さんを対象とします。</p> <p>【研究資金、利益相反の状況】 この研究に資金は必要なく、企業の関与はありません。</p> <p>【個人情報の取扱い】 本研究では電子カルテおよび麻酔記録よりデータを抽出します。情報を取得した後は、氏名、診療録ID等の個人の識別が可能な記述は用いず、個人とは無関係な研究用識別番号を付すことで他の情報と照合しなければ個人を識別できないように加工をします。加工された情報はパスワードによりアクセスが制限されたパーソナルコンピュータで管理します。本研究では研究用識別番号と診療録IDとの対照表を作成し、医局で保管します。本研究に関する情報等は研究結果の最終公表後から10年間保管し、紙媒体の裁断または電子ファイルの消去により復元不可能な形で廃棄します。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学術集会で報告したり、論文として公表することを予定しています。</p> <p>【試料・情報の他機関への提供有無】 無</p>
② 利用又は提供する試料・情報の項目	<p>【試料・情報の項目】 電子カルテおよび麻酔記録に保存されている情報（診療記録等）を利用します。</p>
③ 提供する試料・情報の取得の方法	<p>電子カルテおよび麻酔記録に保存されている情報（診療記録等）を記録します。なお、①に記載のようにデータは患者さん個人を識別できないようにした状態で保存、保管します。</p>

④ 試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称	救急診療センター 矢田部智昭
⑤ 研究対象者等の求めに応じて、研究対象者が識別される試料・情報の利用を停止する旨	<p>研究対象者に関する試料・情報を当該研究に用いることに対して、拒否をご希望される場合や研究資料（研究計画書及び研究の方法に関する資料）を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲で入手・閲覧を希望される場合は、以下の窓口へご連絡ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>電話番号：0562-33-5500 担当者所属・氏名：救急診療センター 矢田部智昭</p>